

## 第9回

# シシ垣サミット in 西表

琉球王国時代に西表の村々では、カマイ（イノシシ）から農作物を守り畑をつくるための長大な垣〈シー〉が築かれた。今は森に眠るそれら“猪垣”に光を当てることで、カマイとの、そして自然とのかかわりを見つめ直したい。さらに、地域遺産としての猪垣の保存と活用のあり方について考えたい。

日時：2016年12月10日（土） 13時30分～17時50分（開場13時より）

会場：祖納公民館（西表島祖納）

### プログラム

13:30～13:50 開会挨拶

13:50～15:30 【第一部 リュウキュウイノシシと島人とのつきあい】

「西表島における人とイノシシとの関わり—西部の猪垣と狩猟を中心として」  
蛭原一平（東北芸術工科大学東北文化研究センター）ほか

「やんばる奥の猪垣」宮城邦昌（奥の猪垣研究会）

「リュウキュウイノシシの成り立ち—形態と遺伝子解析から迫る」

竹内佳子（広島大学大学院生物圏科学研究科）・伊藤真穂（広島大学生物生産学部）

15:40～17:50 【第二部 猪垣の保存に向けて】

「シシ垣から読み解く世界遺産の将来像」

花井正光（NPO 法人沖縄エコツーリズム推進協議会）

「祖納岳『シー（猪垣）』の竹富町有形文化財指定に向けて」

石垣金星（竹富町文化財保護審議委員会）

座談会（ゆんたくフォーラム）「猪垣から考えるシマの未来」

※12月11日 祖納岳猪垣巡検ツアー（午前9時祖納公民館集合、小雨決行）

【主催】 第9回「シシ垣サミット in 西表」実行委員会

【共催】 シシ垣ネットワーク 【後援】 祖納公民館 西表島エコツーリズム協会

お問い合わせ先 09shishigakisummit@gmail.com 0980-85-6303（代表・石垣金星）